

高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発委託費

資源エネルギー庁電力・ガス事業
部放射性廃棄物対策課

令和5年度概算要求額 **37.0 億円** (35.0 億円)

事業の内容

事業目的

高レベル放射性廃棄物等の地層処分は、高い放射能を有する放射性廃棄物を地下300m以上の深さに数万年以上に渡って人間環境から隔離する目的で実施されますが、将来世代へ負担を先送りしないためにも、着実に実施する必要があります。そこで、処分事業の操業開始までの長期的な展開を視野に入れ、具体的な地点を対象とした調査評価のための基盤となる技術を先行的に整備し、処分事業等の円滑化を図るとともに、将来世代が最良の処分方法を選択できるよう、代替オプションに関する技術開発を並行して進めることを目的とします。

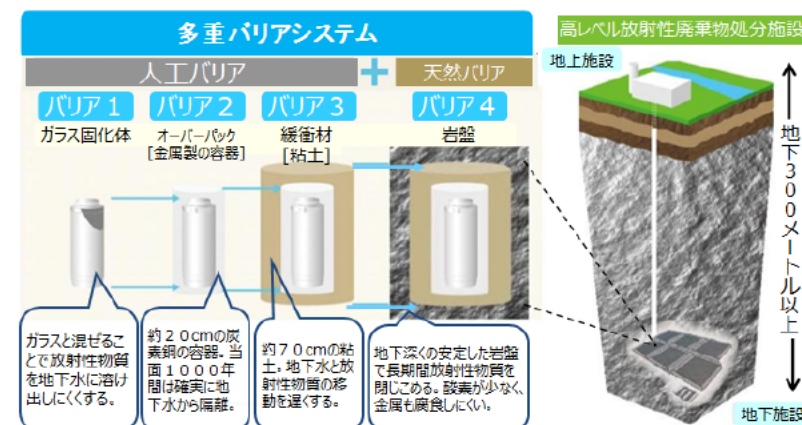
事業概要

我が国の地下環境に着目し、沿岸部の地質環境調査や設計手法、火山や断層、地震などの自然事象の影響を評価する技術、地下坑道を閉鎖する技術、人工バリアの長期的な挙動や放射性核種の移行を評価する技術、廃棄物を回収する技術、代替処分オプション技術に関する研究開発を実施することによって、国民の地層処分に対する信頼感の醸成に資するための基盤技術を整備します。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



高レベル放射性廃棄物の地層処分の概念図



成果目標

令和5年度から令和9年度までの5年間で、各事業で構築した要素技術を統合化して、概要調査～精密調査～施設建設～操業～地下施設閉鎖の処分事業のプロセスにおける地質環境調査～設計・施工・操業～安全評価の一連の流れの実現性について、総括的に取りまとめます。これらの成果を活用し、放射性廃棄物の処分に関する国民理解の獲得・促進と処分事業の円滑化に資する技術基盤の整備を目指します。